

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。(各会派の質問持ち時間は〔基礎時間40分+(会派所属議員数-1)×5分〕、答弁時間は概ねその1.5倍の時間で、質問時間・答弁時間を合計したものが各会派の持ち時間となります。)

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張等を同じくする議員で構成された団体のこと。1人でも会派を作ることができますが、代表質問をすることはできないことになっています。

◆消防の広域化の考え

問 東北信は広域化の協議を打ち切るとしているが中南信だけ進めるのか、市の考えは。

答 松本広域消防局は良好な運営をしており、特段広域化のメリットが見えない。協議はいったん白紙に戻し、将来的に広域化の協議が必要になった時点で検討されることが望ましい。

◆新体育館建設について

問 市民の賛否をどのように把握するか。また、建設場所、規模、建設費、財源等を市民にどう情報提供するか。

答 無作為抽出による住民アンケート調査を実施し、そこへ判断出来る資料を入れて郵送で行っていく。

◆労働条件の改善を

問 市の嘱託、臨時職員の待遇改善を。

答 今までも待遇の見直しを実施してきたが、引き続き賃金や休暇などの雇用待遇面で配慮していく。

◆市の観光資源を売り出せ

問 4月からのNHKの朝のドラマ「おひさま」の撮影が奈良井宿で行われ、放映されることで全国から注目されるのでこのチャンスを生かせ。

答 撮影場所である地域の魅力

力を最大限に活用し、観光戦路として塩尻市をはじめ安曇野市、松本市と観光関係諸団体等で構成する「おひさま」広域観光推進連絡会と広域的な連携の中で積極的な観光振興に努めていく。

明政会

質問者 古厩 圭吾
塩原政治・五味東條
森川雄三
持ち時間138分

自動車解体業進出計画のその後

◆塩尻の特徴ある農業振興を
問 農業再生の塩尻らしい具体策は何か。

答 農業公社の立ち上げで、遊休荒廃農地の半減、自給率の向上、地域特性を生かした地産地消・旬産旬消による食育推進。各組織の取り組みの隙間を埋めたい。

◆なぜ組合理事にならなかった

問 中央通り再開発は事実上「市民交流センター」を造るための事業であり、ここで贈収賄事件が発生した。大地権者であり、9割以上を取得す

る予定の市が、理事にならなかったのはなぜか。

答 準備組合設立の話し合いで、市は床を買う立場、組合は売る立場で、保留床の売却価格を設定する場面で、係争になるケースもあることから市が両方の執行者の立場になることは好ましくないと判断し、理事に入らなかった。結果として事件がおきたことには大変反省している。

◆再開発関連不祥事をどう防ぐ
問 議会の指摘が生かされず贈収賄事件が発生した。再発をどう防ぐか。

答 結果として特別委員会の指摘を生かせず、大変遺憾で道義的責任を感じるが、組合そのものに不正があった訳ではない。行政の目の届かない所で行われ、現実的にその部分まで管理することは不可能だった。今後も再開発事業が予定されているが理事に執行権が委ねられ、その責任で事業が行われる。市は技術的援助の中で監視し、適正な執行に当たる。

◆外壁ガラス破損の原因究明を

問 ガラス破損は、壁柱工法との関連性はないか。
答 カーテンウォール工法は実績ある工法。破損は躯体構

造とは関係なく、施工上の問題と業者が認めている。第三者の判断を仰ぐべく、信大教授に検証を依頼している。

◆市による商業ビル管理の限界がある。民間への委譲を検討するべきだ。
問 市の商業ビル管理には、

答 ウイングロードビルの土地建物の資産価値は20億円以上残っており、民間取得では多額の贈与税が課せられる。現状では民間取得は不可能。将来こうした対応が出来る民間が現れば委譲についての検討も必要か。当面は現況を維持し管理運営にコスト意識を持って臨む。

◆都市間競争にどう臨む

問 地方分権で自治体間の格差拡大や都市間競争が進む。どう対処するか。



注目を浴びる市民交流センター